

商工会青年部活動報告

夏だわいわいフェスティバル ★キッズワールド丹波篠山

★夏だわいわいフェスティバルキッズワールド丹波篠山
開催日／平成23年7月28日 場所／西紀体育館

平成23年7月28日に西紀体育館にて市内小学生を対象にした職業体験イベント「夏だわいわいフェスティバル」を開催しました。このイベントは今年で4年目を迎え、仕事の厳しさ、楽しさ、達成感を子ども達に体験してもらい、地元の産業を知っていただくイベントです。

本年度は体育館と駐車場に分かれそれぞれ10種類のブースが軒を並べました。

建築ブースでは、高さ1.8m、幅2.5m、横3.5mの本格的なミニチュアハウスを作りました。

塗装ブースでは普段する事の出来ない塗装用のガンを使つての吹き付けを体験しました。子ども達は服を汚しながらも、真剣に取り組みました。

色々な仕事を体験した子ども達は、労働の対価として疑似通貨を得ました。

この通貨は、カレーやカキ氷、シュークリーム等の飲食ブースやミニゲーム等のアミューズメントブース等で使用することが出来、何を買うかを考えるとともに労働して得た対価の有難みを体験することが出来ました。

夏の猛暑の中、参加頂いた児童130名は、非常に有意義な時間が過ごせました。

また、本事業に助力いただいた34名の中学生ボランティアをはじめご協力いただいた諸団体の方々に、心から感謝申し上げます。

細川 通生

陶器まつり・火の祭典

★陶器まつり 開催日／平成23年10月15・16日 場所／陶器市会場
★火の祭典 開催日／平成23年11月23日 場所／上立杭公共用地

平成23年度は、「陶器まつり」と「火の祭典」を軸に活動して参りました。「陶器まつり」は、平成23年10月15日、16日に開催され、名物のつくたての餅と焼き餅を販売させて頂きました。

餅つきの音や、香ばしい焼き餅の匂い、今年は新たにピザ餅も新メニューとして販売して、沢山の皆様にお越し頂き、祭りの味覚を楽しんで頂きました。本当に有難うございました。

「火の祭典」は、新たな事業として、平成23年11月23日に開催させて頂きました。最近の子ども達は、焚き火やキャンプファイヤーなどをする機会が減り、実際に火と関わる事が少なくなったというのを聞いて、それならば事業として出来ないものかと会を進めてまいりました。そして、今田地域の小学生と保護者の方を対象に事業を行いました。

当日は部員の指導の元、手製のかまどに薪で火を作り、飯ごう炊飯や篠山産農作物を焼き調理をおこない地元の秋の味覚を味わって頂きました。

熱々の焼き山の芋を「おいしい!!」と頬張って食べている子ども達の姿が印象に残りました。大きな焚き火の中で器を焼成し完成させる「野焼き」という原始的な方法を使って地元丹波焼の「野焼き」体験も行いました。

事前に陶芸教室を開催して、子ども達に器を製作して貰い、当日朝から、器を焼成しました。昼過ぎから、まだ熱さの残る器を取り出して、それに皆で作ったカレーを盛り付けて味わって貰いました。

最後は、巨大なキャンプファイヤーを前にして、歌を歌い、ゲーム大会をして大いに盛り上がりしました。

地場産業である丹波焼には欠かすことの出来ない火を通して地元産業や地域の交流を少しでも深めて行くことが出来たのではないかと思っております。

ご参加、ご協力頂きました多くの方々に心より感謝申し上げます。

今後も青年部事業を通じて部員の交流を深めると共に、地域の振興、発展に貢献出来るよう活動をして行きたいと思っております。

市野 勝磯

黄金市・第59回デカンショ祭 第9回いのしし祭

★黄金市 開催日／平成23年5月3日 場所／三の丸広場
★デカンショ祭 開催日／平成23年8月15・16日 場所／篠山城跡周辺
★いのしし祭 開催日／平成24年1月28日 場所／篠山城跡周辺

平成23年5月3日、三の丸広場にて、フリーマーケット「第19回 黄金市」を開催しました。

今年は70ブースが出店し、中でも市内高校の生徒による販売ブースの出店もありました。また、新名物商品として、猪肉を使った「丹波篠山ドック」を開発し、限定販売したところ行列ができ、すぐに完売となりました。GW中の好天という事もあり来場者も多く、大盛況となりました。

また、平成23年8月15日、16日には「第59回丹波篠山デカンショ祭」を開催しました。

三の丸広場にて、木造ヤグラを中心にデカンショ節に合わせて、競演会やJr競演会、そして多くの人々が参加する総踊りと、「踊りの祭典」にふさわしく威勢の良い掛声や笑顔いっぱいでの踊りで大変盛り上がりしました。また、大書院をバックに夜空を演出する、打ち上げ花火は来場者から感嘆の声もあがり、フィナーレの際には拍手喝采で、部員共々、夏の良き思い出となりました。

そして平成24年1月28日には「第9回いのしし祭」を開催しました。

今年は、雪もちらつき、大変寒い中での開催となりましたが、篠山のド真ん中を野生のいのししが駆け抜け、迫力満点の「ドドいのしし猛レース」やこのイベントでしか味わえない「丹波一ガー」、いのしし丸焼き、市内各店の出店による食会場はそれぞれ列を生じ、大きな歓声や笑顔に包まれ、大盛況に終える事ができました。

今年度もそれぞれの事業にたくさんのお客様にお越しいただき、また多くの皆様のご支援ご協力頂きました事、部員一同心より厚く御礼申し上げます。

そして今後も、地域に根ざした活動を中心に、篠山市の振興、発展に努めてまいりたいと思います。

田中 康則

ドカンッと一発感謝祭

★感謝祭 開催日／平成23年11月12日 場所／味間奥(茶の里会館周辺)

昨年の人員、財政面での反省事項を検討していく中では、開催の是非まで問われた時期もありましたが、最終的には部員個々のキモチを重視し、実施することを決断した後、再度できる方向性を見出す為に協議を重ねました。

そこで、初夏の「大國寺と茶まつり」と秋の「丹波たんなん味覚・商工まつり」においては、部員総動員で運営資金の確保と広報活動を目的に、できる限り地元の食材を使用し、不慣れながらも部員が一から手作りした特製おでんを販売し、完売することができました。

また、来場者からは「食材と味の両面で安心して食べることができる。」とうれしいお言葉も頂き、感謝祭へ部員のテンションも一気に高まりました。

今年で4回目となった「感謝祭」では、会場の活気を増すために、屋上の増設とステージイベントの実施に力を注ぎました。

財政面を考えれば、無謀な話だと言う声もありましたが、そこは商売人の武器であるコミュニケーション能力とネットワークを存分に活用し、4団体から出演の承諾が頂きました。結果的には、ステージイベントにより賑やかな雰囲気を出できただけでなく、イベント自体にもメリハリが付きました。次年度はどのような形での実施になるかは分かりませんが、地域の皆さんとの交流の場・楽しんでいただける場となる事業運営を行える様に早速話し合いを始めております。

当日会場に来て頂いた方、会場を提供頂いた味間奥自治会の皆様、ご協賛頂きました企業の皆様、消防団の皆様、ステージイベントの出演者の皆様、さらに各地のイベント出店の際「特製おでん」をご購入頂いた皆様に青年部員一同、大変感謝しております。「ありがとうございました。」

追立 義昭

商工会青年部活動報告

●デカンショ祭 青年部売店出店

今年のデカンショ祭の直営売店の運営について話し合いがもたれた時、篠山市商工会青年部が、東日本大震災の復興支援として何かできることはないか？という声があがりました。そこで被災地の名産を販売して少しでも復興支援に役に立てようということで、様々なルートで東北の名産をリサーチしていくと宮城餃子が良いのでは？との提案をいただきました。ただ、実際の売店で餃子を販売した経験がないので、とりあえず、懇親会で試作試食してもらいました。これならうまくいくのではというグーサインがでましたので実施する運びとなりました。カラダポテトジュースの定番商品の売り上げはある程度見込みでしたが餃子の売り上げについては不安でした。しかしながら本番当日になると餃子の売れ行きが想像以上の伸びとなりほっとひと安心でした。やはり、ビールのあてとしての餃子は鉄板商品でした。全体として予定販売数を上回る売れ行きを確保して大変満足のいく結果となり収益の一部を東日本大震災の復興支援に充当いたしました。両日ともに懸命になり販売デカンショ祭の盛り上げに協力いただきました多数の青年部員の皆様には感謝いたします。また今年度も事業を行なうにあたりお世話になりました同友会の諸先輩方には改めて感謝申し上げます。

(西垣良章)



●ソフトボール大会

平成23年7月9日(土)丹波市のグリーベル青垣にて丹波篠山地区商工会青年部ソフトボール大会が開催されました。

篠山市からは4チーム・丹波市からは7チームの合計11チームが集まりました。晴天の中、予選リーグが始まりました。

出場者は普段の仕事を忘れ白球を必死に追いかけました。

そして楽しみながらも真剣にプレーしました。好プレーが飛び出し拍手を浴びたりすることもありましたが、残念ながら珍プレーとなってしまう場面が多々見られました。

さて、決勝リーグに勝ち進んだチームは、目前に控えた県大会出場を目指して懸命にプレーしておりま

わが篠山青年部チームは1チーム予選リーグを勝ち抜き、決勝リーグに残り、本当日最後まで気を抜けな



(田中 聡)

●主張発表大会

平成23年4月21日に、王地山公園ささやま荘で行われた丹波篠山地区商工会青年部主張発表大会に、篠山市商工会青年部の代表として、松下卓好氏、大前裕樹氏、岩本孝氏の3名が出場し、日頃の商工会青年部活動を通じて得た事例を力強く発表され、岩本孝氏が見事最優秀賞を受賞しました。

そして、岩本孝氏は平成23年7月12日に、丹波市水上ポンプアップホールで行なわれた兵庫県商工会青年部主張発表大会に、丹波篠山ブロック代表として出場し「青年部復活に参加して」丹波篠山松茸復活そして世界初へ」と題し日頃取り組んでいる、松茸再生事業への熱い思いを力強く発表しました。

(西村輝幸)



●恋活事業

青年部の全体事業として、11月5日(土)、ユニピアささやまにて「恋活しちゃおう?in丹波篠山」を開催しました。篠山に縁のある男性と近隣地域の女性との恋が始まっちゃうような出合いの場を青年部ならではの企画で提供できないかと取り組み、当日は事前の広報活動等により男女各40余名に参加頂きました。



企画準備の段階では、参加頂いた方が気軽に楽しくコミュニケーションできるようにとプログラムの協議を重ね、当日には自己紹介タイムや昼食タイム、そして各支部が出店形式で「射的コーナー」や「輪投げコーナー」等の男女共同で楽しんでもらえる場を設けまし

た。参加者だけではなく運営する部員も緊張から始まった会場でしたが、各プログラムを通じて和やかな雰囲気変わっていききました。また会場内には相手の意向が気になる方へ部員がアドバイスをする相談コーナーも設けました。予想以上に大流行りとなり、参加者の真剣な相談にアドバイスする部員も同じように悩み、どうアタックしていくか一緒に考える姿もありました。



結果は、見事に10組のカップルが誕生しました。誕生したカップルには各支部代表のお店に二人が飲食できる食事券をプレゼントさせて頂きました。青年部としては、その後のカップルの追跡をしないことにより、カップルが数組いたと聞いて頼もしいばかりです。

設置運営に幾つかの不備もありましたが、部員の積極的な取り組みと互いを補う行動により大きな失敗や事故が無く開催を無事に終えることができました。カップルの成立がかわらず、参加頂きました同世代の若者が「丹波篠山」を少しでも意識しての地に集い、楽しい時間となった事、新たな出会いを求めた活力の場になった事に事業の成功があったのではないかと思います。参加者並びにご協力頂きました皆様、本当にありがとうございます。

(中島 徹)